

2019年度
日 本 史
(問 題)

〈H31130018〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、試験開始後、氏名欄に氏名を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) マーク欄には、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I

次の文章を読み、問1～10に答えよ。

縄文時代の終わり紀元前5～4世紀の頃、⁽¹⁾ 水稻耕作による農耕が始まったことで、徐々に食料採取から食料生産へと移行し、日本の農業が本格的に始まった。その後、現代に至るまで農具の発展や農法の工夫など農業技術のイノベーションを積み重ね、⁽²⁾ また農地や水路などの農業施設の開発を行ない、⁽³⁾ 農作業の効率化や生産量の拡大といった農業振興を行ってきた。また米の生産だけではなく、地方ごとの気候や環境に適合した特産物や商品作物の生産も盛んになり、⁽⁴⁾ 農業者の収入向上や地域経済の発展に寄与してきた。

農業は日本の歴史において、食料の供給はもちろん、社会の様々な面で役割を担ってきた。近世後期までは税の徴収の中心は米による年貢であり、農業の振興は国の安定のため税制面でも重要であった。⁽⁵⁾ それぞれの時代の為政者は、税を安定的に、持続的にそしてより多く徴収できるよう様々な制度を採用してきた。より安定的に徴収するために、税を納める「人」を確定し、その人が耕作をする「農地」を確定した。⁽⁶⁾ またより持続的に徴収するために、農地で耕作を続けられるような施策を展開し、より多く徴収するために、新たな農地の開発を実施、または促進する施策を展開した。⁽⁷⁾ 一方、これらの為政者側の施策に対して、納税者側は税負担を軽くしたり逃れたりする様々な手法を編み出した。⁽⁸⁾ 為政者側もこれに対応して、税の徴収の強化を図った。⁽⁹⁾

問1 下線部(1)に関連して、弥生時代前期の水田跡のある遺跡ではないものはどれか。2つ選べ。

- イ 葉畑遺跡 □ 垂柳遺跡 ハ 紫雲出山遺跡 ニ 砂沢遺跡 ホ 板付遺跡

問2 下線部(2)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 弥生時代には、木製の鋤・鋤、脱穀用の木臼・^{たてぎね} 堅杵が用いられた。
 □ 鎌倉時代には、牛馬、とくに牛の活用が進んだ。
 ハ 鎌倉時代には、麦を裏作とする二毛作が全国的に普及した。
 ニ 室町時代には、地域毎の気候にあわせて早稲・中稲・晩稲の品種が栽培されはじめた。
 ホ 江戸時代には、深耕用の備中鋤や、^{せんばこき} 籾を選別する千齒抜などが開発された。

問3 下線部(3)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 児島湾や有明海などの干潟の干拓が実施された。
 □ 武蔵野新田や見沼新田などの新田開発が実施された。
 ハ 有力寺社が開発を請け負ったものとして、川口新田や鴻池新田がある。
 ニ 箱根用水や見沼代用水などの大規模な用水路開発が実施された。
 ホ 大規模な農地の開発の際に共同で作業をすることを「^{ゆい}結」という。

問4 下線部(4)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 律令時代には「調」として、絹・糸など郷土の産物が納められた。
 □ 鎌倉時代には、^{えごま} 荏胡麻の栽培が進んだ。
 ハ 室町時代には、^{からむし こうぞ} 苧・楮の栽培が進んだ。
 ニ 江戸時代には、商品作物として、備後の藍玉、阿波の蘭草などが有名であった。
 ホ 明治時代には、絹・綿の生産が増加し、一方で麻・菜種の生産が減少した。

問5 下線部(5)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 律令時代、国家が春に稻を貸し付け、秋の収穫時に高い利息を徴収する公出拳は租税の一種であった。
- ロ 平安時代、受領は有力農民である部曲に農地の耕作を請け負わせた。
- ハ 室町時代、年貢などを惣村がまとめて請け負う地下請が行われた。
- ニ 享保の改革では、商品作物の生産に着目し、畑地からの年貢増収を目指した。
- ホ 明治時代初年の地租改正では、物納を金納に改めて税率を地価の3%とした。

問6 下線部(6)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 天智天皇の時代、庚午年籍を作成し、人口の把握に努めた。
- ロ 班田収授法では、6歳以上の男女に口分田が班給された。
- ハ 10世紀頃からは、口分田などの公地を、有力農民の名前をつけた田ごとに区分し、この田を単位として課税した。
- ニ 太閤検地では、村ごとに農地や屋敷地の面積・等級を調査して貫高を定めた。
- ホ 江戸時代には、宗門改めを行なって耕作者を確定した。

問7 下線部(7)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 桓武天皇は班田を勵行させるために、班田の期間を6年から12年に改めた。
- ロ 太閤検地では、一地一作人制によって、農民は自分の農地の所有権を認められることになった。
- ハ 江戸幕府は、富農への土地集中や本百姓の没落を防ぐため、田畑永代売買の禁止令を出した。
- ニ 寛政の改革では、荒廃した農地を復旧させるため、全国で公金の貸し付けを行なった。
- ホ 薩摩藩では、均田制を実施し、直轄地の小作料の納入を猶予した。

問8 下線部(8)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 722年、口分田の不足を補うため、百万町歩の開墾計画をたてた。
- ロ 三世一身法では、新たに灌漑施設を設けて未開地を開墾した場合は三世にわたって田地の保有を認めた。
- ハ 墾田永年私財法で、開墾した田地の私有を永年にわたって保障したことは、貴族・寺院の私有地拡大につながった。
- ニ 11世紀頃、国司は公領の開発を奨励し、その土地と農民とをあわせて保といった。
- ホ 明治政府は、農地開発の奨励策として、地券を発行した。

問9 下線部(9)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 律令時代、困窮した農民の中には口分田を捨て他国に浮浪するものもあった。
- ロ 律令時代、税負担を逃れるために、貴族の従者となったり、勝手に僧侶となったりするものがあった。
- ハ 平安時代、戸籍には男を女として登録する偽籍が増えた。
- ニ 平安時代、貴族や有力寺社の権威を利用して、不輸を承認してもらい荘園が増加した。
- ホ 室町時代、農民たちが税負担を免れるために、山間部に入会地を作った。

問10 下線部(10)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 延喜の荘園整理令では、貴族の土地集積を停止し、班田の勵行をはかった。
- ロ 9世紀から10世紀にかけて、租税収入を確保するため、政府は地方行政の運営を国司に任せるようになった。
- ハ 10世紀頃、受領は、苛酷な徴税を行なって、郡司や有力農民と対立することもあった。
- ニ 延久の荘園整理令では、記録荘園券契所を設置して券契の確認を厳密に行なった。
- ホ 天保の改革では、検見法をやめて、定免法を取り入れるようになった。

Ⅱ

次の文章を読み、問1～10に答えよ。

歴史認識や対外認識は時代とともに変化してきた。徳富蘇峰は「日本は歴史上ほとんど無外交であった」と断言した。彼によれば、日本は「島国として、外交上何れの国とも、ほとんど没交渉であった。⁽¹⁾朝鮮の如き大陸の片端に位する小国は、開国以来、大国に圧迫せられ、余儀なく、その接触を程よく保持することを生存の一大要件とした」。中国との関係について、蘇峰は、「日本は元来支那を買い被りていた。少なくとも足利将軍が、臣と称して、明帝の冊封を受け、⁽²⁾五山禪宗などが、⁽³⁾明国を文化の中心として崇拜した」と論じた。

長い間、江戸時代の歴史に対する認識は次のようなものが一般的であった。⁽⁴⁾「寛永から安政に至るまで、前後二百余年の間を、普通鎖国時代と称へ、専ら封域内に於ける自営自給の策を採り、世界の大勢と相触れることが、極めて稀であった」。⁽⁵⁾琉球に立ち寄り、浦賀に來航したペリー提督の開国要請に応じて、日本はやっとな海外の文明に目を向けるようになった。⁽⁶⁾

知識人の対外認識も、それぞれの時代の特徴を映し出している。昭和戦前期のある研究者は次のように述べている。「日清戦役中及びその前後を通じて、支那は頻りに、極東の情勢の変革さるることに何れも重大なる関心を有せし英・露・独・仏の干渉を策謀し」、⁽⁷⁾講和成立後、三国干渉を実現させた。

また⁽⁸⁾第一次世界大戦後の対外関係については「日本の行動は、支那の反日ボイコットを以て酬いられ、日本の貿易関係を悪化せしめたのみならず、米国は事毎に反日感情を激化し、日米海軍競争を激化して、異常の緊張状態を現出した」という認識であった。

太平洋戦争の前に、多くの知識人は日本の国策を擁護した。例えば、あるジャーナリストは、⁽⁹⁾「近衛首相は日本は日本の道を行くと放送したが、それは当り前の話である。そのためにこそ日本は支那と戦い、英米を敵としているのだ。この時ドイツもまた英米を敵とし、日本と志を同じくしている」と述べている。

戦後、サンフランシスコで開催された講和会議で、日本は48ヵ国と講和条約を締結した。1952年4月28日、この条約が発効し、日本は⁽¹⁰⁾国際社会に復帰した。これに伴って日本の歴史認識と対外認識が大きく変貌していった。

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 律令時代の日本は唐と同様に、新羅を蕃国とみなした。
- ロ 8世紀頃、藤原仲麻呂は対等外交を主張した新羅への征討戦争を準備した。
- ハ 新羅商人は唐の宝物を日本に仲介した。
- ニ 15世紀頃、将軍が朝鮮に使節を派遣して貿易を行なったが、商人・僧侶による通交は禁止された。
- ホ 平和的通交を広く受け入れた朝鮮は、日本からの通交者に一定の枠を設けるため、派遣者の名前の印章を捺した書面を求めた。

問2 下線部(2)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 倭王は中国の南朝から官爵を授けられた。
- ロ 『宋書』倭国伝によれば、5世紀に倭の五王が宋に朝貢した。
- ハ 倭王は、朝鮮半島での影響力を南朝に認めてもらうために、皇帝の臣下となった。
- ニ 8世紀、日本は唐の冊封を受け、実質的な朝貢を行なった。
- ホ 明は懷良親王を日本国王に冊封した。

問3 下線部(3)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 義堂周信と雪村友梅は五山文学の双璧と称された。
- ロ 禪寺では日常的に漢詩が交わされた。
- ハ 明兆は『四季山水図』を描き、水墨画の技術を集大成した。
- ニ 明から外交使節として禅僧が來日した。
- ホ 東アジアでは、漢文により意思の疎通がはかられた。

問4 下線部(4)に関連して、「寛永十二年禁令」で禁止されたことはどれか。1つ選べ。

- イ ポルトガル船の来航
- ロ 長崎・平戸以外へのヨーロッパ船の寄港
- ハ スペイン船の来航
- ニ 日本人の海外渡航と帰国
- ホ 奉書船以外の海外渡航

問5 下線部(5)に関連して、江戸時代における日本と琉球に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 1609年、薩摩藩は琉球全域を検地した。
- ロ 琉球国王尚氏は島津氏に臣従した。
- ハ 琉球は、琉球国王の代替わりごとに謝恩使を派遣した。
- ニ 琉球は、徳川将軍の代替わりごとに慶賀使を派遣した。
- ホ 琉球は島津氏に征服された後、中国との朝貢貿易を中止した。

問6 下線部(6)に関連する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 江川英竜は伊豆韮山に製鉄のための反射炉を完成させた。
- ロ 幕府は大名に大船の建造を許可した。
- ハ 1860年、幕府は江戸神田に種痘所を開設した。
- ニ 水戸藩は反射炉の築造を行なわなかった。
- ホ 薩摩藩では、集成館と呼ばれる洋式工場群を建設した。

問7 下線部(7)に関連する条約の内容として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 清国は沙市・重慶・蘇州・杭州の4港を開く。
- ロ 朝鮮国から清国への「貢献」・「典礼」などは将来も維持する。
- ハ 日本は、澎湖諸島を除く台湾全島及びその付属島嶼を獲得する。
- ニ 清国は軍費賠償金として、庫平銀4億5千万両を日本に支払う。
- ホ 日本公使館が所在する区域に清国人は居住してはいけない。

問8 下線部(8)に関連する動きとして、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 日本はアメリカ・イギリス・フランスとともに、国際連盟の常任理事国となった。
- ロ 日本はパリで調印された不戦条約に参加した。
- ハ アメリカは1924年に排日移民法を成立させ、日本からの移民を厳しく制限した。
- ニ 日本は、門戸開放・機会均等を定めた九カ国条約に参加しなかった。
- ホ 日本は1929年に調印されたジュネーヴ条約を批准し、協調外交の路線をとった。

問9 下線部(9)に関連して、第2次近衛内閣期の出来事として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 日本は北部フランス領インドシナに軍隊を進めた。
- ロ 日本はアジアでの新秩序建設をドイツとイタリアに承認させた。
- ハ 日本はドイツ・イタリア・ソ連とともに、4国ブロックの形成を目指した。
- ニ アメリカは屑鉄の対日輸出制限措置を発表した。
- ホ アメリカは、アジアを満州事変以前の状態に戻すことを要求するハル＝ノートを提出した。

問10 下線部(10)に関連する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ サンフランシスコ講和条約により、沖縄と小笠原諸島はアメリカの委任統治を受けることになった。
- ロ サンフランシスコ講和会議に中華民国(台湾)が参加し、中華人民共和国は招待されなかった。
- ハ 日米安全保障条約によれば、日本国内での内乱にもアメリカ軍が出動できる。
- ニ 1952年の日米行政協定により、アメリカ軍人の自由な出入国が保障された。
- ホ 1952年に成立した警察予備隊が自衛隊に改編された。

Ⅲ 次の【史料A】、【史料B】を読み、問1～10に答えよ(史料は一部改変)。

【史料A】

往昔大宝養老ノ二朝修定スル所ノ法典、廢弛スル既ニ久シ。中葉而降、豪族政ヲ為シ、家其俗ヲ殊ニシ、国其風ヲ異ニシ、概ネ皆慣習ヲ以テ法ト為ス。之ヲ無法ト謂テ可ナラン歟。今ヤ王室中興、宇内ヲ混一シ、嚮ノ豪族ナルモノ悉ク郡県ニ帰シ、政令一途ニ出ツ。是ニ於テ、凡百ノ法度、内ハ則チ大宝養老ノ旧ニ溯リ、外ハ則チ西洋諸国ノ粹ヲ采リ、頗ル裁定スル所アリ。抑西洋諸国、法ヲ設クルノ体、其別六アリ。曰ク国法、曰ク刑法、曰ク治罪法、曰ク民法、曰ク商法、曰ク訴訟法。而シテ其帰ヲ要スルニ、国法・民法ノ二者ニ出テス。今 朝廷裁定スル所ノモノ、端緒多シト雖トモ、亦タ此ノ二者ヨリ外ナル者莫シ。然レトモ公文ニ散在シ、未タ衰囊シテ一部ノ書ト為スモノ有ラス。因テ国法・民法ノ二綱ヲ立テ、門類ヲ分テ而シテ之ヲ匯集シ、慶応三年十月ヨリ明治五年十二月ニ迄ル。名テ憲法類編ト曰ヒ、之ヲ明法寮ニ備ヘテ、以テ法官ノ查考ニ便ニス。(下略)

明治六年三月

司法卿 (5) 江藤新平
司法大輔 (6) 福岡孝弟
明法寮権頭 楠田英世

【史料B】

我叡聖文武ナル 天皇陛下ハ、一方ニ於テハ古來ノ慣習ニシテ国情ニ適シ最モ善美ナルモノヲ保存スルト同時ニ、他方ニ於テハ欧米ノ制度ニシテ其最モ国利民福ヲ増進シ且ツ我慣習ト相背馳セサルモノヲ採用スルコトノ急務ナルヲ認メラレ、在廷ノ有司ニ命シテ法典ヲ編纂ヲ為サシメラレタリ。爾來年処ヲ閱スルコト十有余、其間或ハ官人ヲ全国ニ派遣シ、以テ各地ノ慣習ヲ調査セシメラル。草案其功ヲ竣ヘ、元老議員ノ議定ニ付シ、枢密顧問ノ諮詢ヲ經テ、茲ニ裁可公布セラレタルモノハ、即チ民法及ヒ商法ナリ。

斯ノ如ク聖旨ヲ奉シテ編成シ、裁可ヲ得テ公布セラレタル民法及ヒ商法ハ、一日モ早く其実施ヲ見サル可カラス。然ルニ頃日流言アリ、或ル一部ノ徒輩ハ此二法ノ実施ヲ延期セント説クモノアリ。(『法治協會雑誌』号外、明治25年5月)

問1 【史料A】下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 荘園が増加し、租税徴収・犯罪捜査などが律令どおりには出来なくなった。
- ロ 律令は難解な漢文で書かれており、それを理解できる者が限られていた。
- ハ 唐帝国の衰退に伴って対外的緊張が緩み、軍事制度も変容した。
- ニ 公地が不足し、班田収授制が維持できなくなった。
- ホ 平安時代になると、数多くの格式が制定されて、律令は顧みられなくなった。

問2 【史料A】下線部（2）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 貞永式目は武家の先例や慣習に基づいて制定された。
- ロ 朝廷では、律令の伝統を受け継ぐ公家法が行なわれた。
- ハ 荘園では、荘園独自の分国法が行なわれた。
- ニ 戦国大名の中には、独自に家法を制定する者もあった。
- ホ 江戸幕府は公事方御定書を制定したが、各藩も独自に法律を制定できた。

問3 【史料A】下線部（3）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 太政官制を復活し、神祇官も置いた。
- ロ 北海道開発を目的として開拓使を置いたが、平安時代にも、特定目的達成のための役所として勘解由使・検非違使などを置いた。
- ハ 新律綱領は、大宝養老の律を復活した刑法典である。
- ニ 大学校（のち大学）は昌平坂学問所の後身であるが、律令にも官僚養成機関としての大学寮があった。
- ホ 庄屋・名主を廃止して置かれた戸長は、律令制の最末端行政機関の長と同名である。

問4 【史料A】下線部（4）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 政体書は、アメリカの行政制度にならって三権分立を採用した。
- ロ 学制は、フランスの教育制度を参考にしている。
- ハ 国立銀行条例は、イギリスのナショナル・バンクに倣ったものである。
- ニ 政府は、太陰暦を廃止して、西洋諸国に倣って太陽暦を採用した。
- ホ 普仏戦争後、日本では次第にプロイセン陸軍をモデルとするようになった。

問5 【史料A】下線部（5）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 佐賀藩出身である。
- ロ 幕末に昌平坂学問所で学んだ。
- ハ 岩倉具視の遣欧使節団に加わり、主としてフランス法を調査・研究した。
- ニ 明治政府最初の司法卿である。
- ホ 佐賀の乱で処刑された。

問6 【史料A】下線部（6）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 土佐藩出身である。
- ロ 由利公正とともに五箇条の御誓文を起草した。
- ハ 副島種臣とともに政体書を起草した。
- ニ 拷問廃止を実現させた。
- ホ 徴兵令公布に尽力した。

問7 【史料B】下線部（7）に関連して、わが国に採用されたものはどれか。2つ選べ。

- イ 男女平等 ロ 四民平等 ハ 均分相続 ニ 一夫一婦制 ホ 職業選択の自由

問8 【史料B】下線部(8)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 元老院は立法諮問機関として設置された。
- ロ 元老院は左院の後身である。
- ハ 元老院の初代議長は大木喬任であった。
- ニ 元老院では憲法草案を起草したが、廃案となった。
- ホ 元老院は帝国議会が開設されるまで存続した。

問9 【史料B】下線部(9)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 枢密院は天皇の最高諮問機関として設けられた。
- ロ 枢密院の初代議長は伊藤博文であった。
- ハ 枢密院の構成員は枢密顧問官と呼ばれた。
- ニ 枢密院は後には内閣総理大臣を指名するようになった。
- ホ 枢密院は日本国憲法の施行によって廃止された。

問10 【史料B】下線部(10)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 民法草案の内容がフランス流で、自由主義的であると批判された。
- ロ 民法草案起草の中心人物は御雇外国人のボアソナードであった。
- ハ 東京大学の穂積陳重は「民法出デテ、忠孝亡ブ」と極言して、延期を主張した。
- ニ 民法施行は延期され、伝統的家族制度を存続する民法が新たに公布された。
- ホ 商法草案も、民法典論争の影響で施行を延期、修正の上で公布された。

IV 次の【史料】を読み、問1～10に答えよ(史料は一部改変)。

【史料】

昭和十九年六月二十八日(水)

- (1) 尾崎行雄、(2) 大審院で無罪になる。例の不敬罪に対する判決(中略)。サイパン島に敵の大勢力上陸。上下に悲観の色ようやく現わる。

昭和十九年六月二十九日(木)

内閣が危機に瀕しているよし。連合艦隊の豊田は、海軍大臣が軍令部長を兼ねていてはやれないと言っている。

昭和十九年六月三十日(金)

- (5) サイパンは放棄するに決したという。ただ問題はそれをどういう形式で新聞に発表するかである。情報局の中には、「いままでのように一々指定せずに、自由に書かせたらどうか」という意見もあったという。(中略)新聞が中央で統制されたこと現時のごときはない。

正宗白鳥氏きたる。(中略)「文学報国会などでも、四角張ったことばかり言う。文学者という奴は愚劣だ」と。日本に関する限り、まさにその通りだ。

昭和十九年七月二十七日(木)

オリエンタル・エコノミストの編集会議。参謀本部で五部買上げ、さる筋に送ることにしたそうだ。官製ならざる言論は、外交にも信用があるということを、結果において知りながら、総合的に考えることができないのだ。それにしても、この言論圧迫時代に孤城を守りとおしてきたのは、石橋湛山君の『A』だけである。確かに将来、特筆に値する。

問1 下線部(1)の人物に関連する記述として適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 保安条例により東京から追放された。
- ロ ゴルゲ事件の首謀者として処罰された。
- ハ 立憲国民党の一員として第一次護憲運動の中心的人物となった。
- ニ シーメンス事件時に総辞職した内閣の一員であった。
- ホ 「憲政の神様」と称された。

問2 下線部(2)と同様に大阪会議の結果を受けて設置された機関として適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 元老院 ロ 枢密院 ハ 地方官会議 ニ 参事院 ホ 民会

問3 下線部(3)は、下線部(1)の人物が翼賛選挙を批判したことに起因する。翼賛選挙に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 下線部(1)の人物は非推薦候補として立候補した。
- ロ この選挙で非推薦だった議員が中心となって戦後に日本自由党が結成された。
- ハ この選挙の後、翼賛政治会が結成された。
- ニ この選挙の結果、東条内閣が成立した。
- ホ この選挙で選出された議会によって帝国国策要綱が承認された。

問4 下線部(4)に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 初代台湾総督は、海軍軍令部長であった。
- ロ 海軍軍令部はワシントン海軍軍縮条約の締結に際して対英米7割を強硬に主張した。
- ハ 海軍軍令部長(軍令部総長)は御前会議への出席を認められた。
- ニ 海軍軍令部は海軍の行政・人事などの軍政を担う機関であった。
- ホ 海軍軍令部長の反対を押し切って政府がロンドン海軍軍縮条約に調印したことで統帥権干犯問題が発生した。

問5 下線部(5)に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ これ以降、サイパンを基地とする米軍の本土空襲が本格化した。
- ロ これにより絶対国防圏の一角が崩れた。
- ハ これを受けて東条内閣は総辞職した。
- ニ これを受けて占領地域の戦争協力強化のために大東亜会議が開催された。
- ホ この後のフィリピンでの作戦では海軍特攻隊による体当たり攻撃が行なわれた。

問6 下線部(6)に関連して、この時期に大政翼賛会の傘下におさめられていた団体として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 大日本婦人会
- ロ 大日本翼賛壮年団
- ハ 大日本青少年団
- ニ 産業報国連盟
- ホ 大日本産業報国会

問7 下線部（7）に関連する記述として適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 参謀本部の長は陸軍大臣であった。
- ロ 参謀本部の長は天皇による統帥権行使に関与できなかった。
- ハ 2個師団増設問題に際して参謀本部の長が辞任した。
- ニ 陸軍の最高軍令機関であった。
- ホ 大日本帝国憲法公布に合わせて設置された。

問8 下線部（8）の人物に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 小日本主義の立場から植民地の放棄などを主張した。
- ロ 第1次吉田内閣で入閣したが、公職追放を受けた。
- ハ 第3次鳩山一郎内閣の後を受けて首相となった。
- ニ 首相在任時に憲法調査会が設置された。
- ホ 石橋内閣は短命に終わった。

問9 空欄

A

 に入る雑誌として適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 太陽 ロ 世界 ハ 改造 ニ 中央公論 ホ 東洋経済新報

問10 下線部（1）の人物は帝国議会で「仮に日本に共和政治がおこなわれるとしたら」との発言を行なった。この発言に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ この発言は金権政治を批判するものであった。
- ロ この発言は宮中からも批判された。
- ハ この発言の影響で憲政党が分裂した。
- ニ この発言の影響で当時の内閣が退陣した。
- ホ 当時の内閣は超然主義の立場をとっていた。

〔以 下 余 白〕